

第1期西宮版総合戦略（H27-R1）

目標達成状況等報告書

令和3年3月

西宮市 政策局

目 次

1. 西宮版人口ビジョン・総合戦略【概要】	1
2. 人口の状況	3
(1) 総人口の推移	3
(2) 人口動態の状況	4
3. 西宮版総合戦略 数値目標に対する達成状況及び取組状況	5
基本目標(1) 稼ぐ力を引き出し市民の暮らしを支える産業支援	5
基本目標(2) 大学との連携強化	11
基本目標(3) 都市ブランドの発信強化	16
基本目標(4) 芸術文化・スポーツに触れる機会の促進	19
基本目標(5) 結婚・出産・子育て・子供の育ちへの支援	24
基本目標(6) 高齢者・障害のある人の暮らしへの支援	33
基本目標(7) 地域特性を踏まえた取組み	40
4. 第1期西宮版総合戦略における基本目標とSDGsにおける17ゴールの関係	47

1. 西宮版人口ビジョン・総合戦略【概要】

【策定趣旨】

- ・急速に進展する少子高齢化への対応や人口の東京一極集中の是正等のため、各自治体で地方版総合戦略を策定し地方創生に取り組んでいます。
- ・西宮市でも、人口の現状を把握・分析するとともに、文教住宅都市としての魅力を生かし、「西宮らしい暮らし」を楽しむまちを基本コンセプトとした「西宮版人口ビジョン・総合戦略」を策定しています。

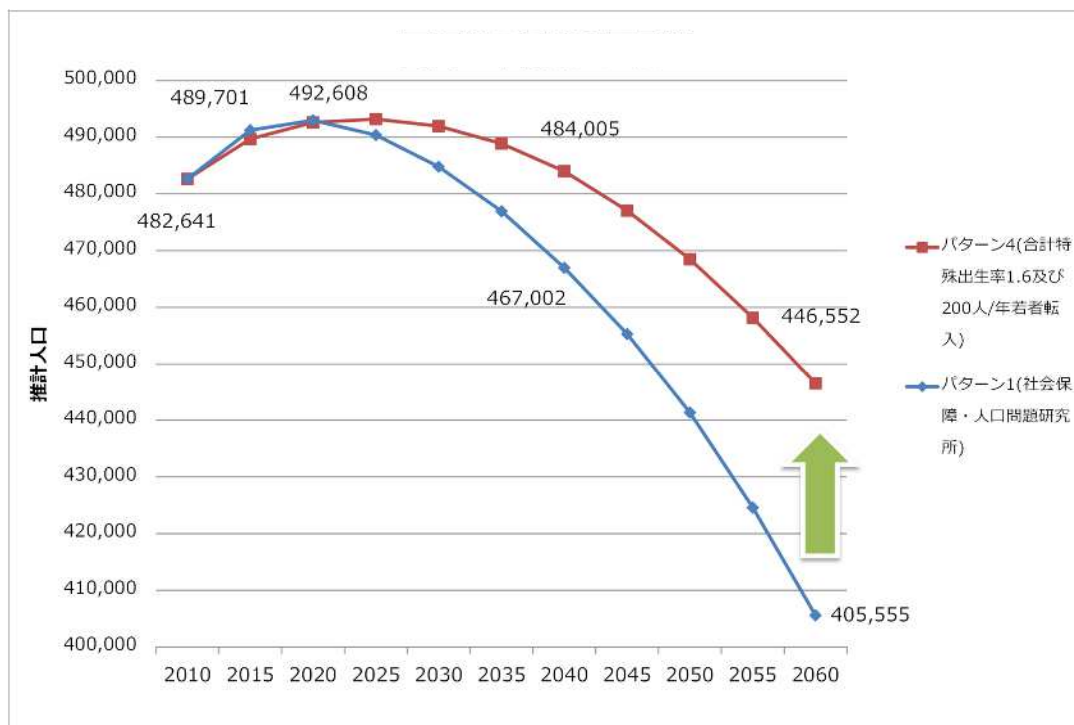
【人口の将来展望】

- ・西宮版人口ビジョンにおいて、社会動態、自然動態からいくつかのパターンを推計し、本市としてはパターン4を目指すこととしています。なお、本推計人口では、平成22年度の国勢調査を基準人口としています。

(パターン1) 国立社会保障・人口問題研究所の標準的な推計手法で、全国的に人口が減少するため人の移動が半減すると仮定したもの

(パターン4) 合計特殊出生率を1.6と仮定し、若い世代25～34歳の夫婦のみ世帯が200人/年(100世帯/年)転入すると仮定したもの

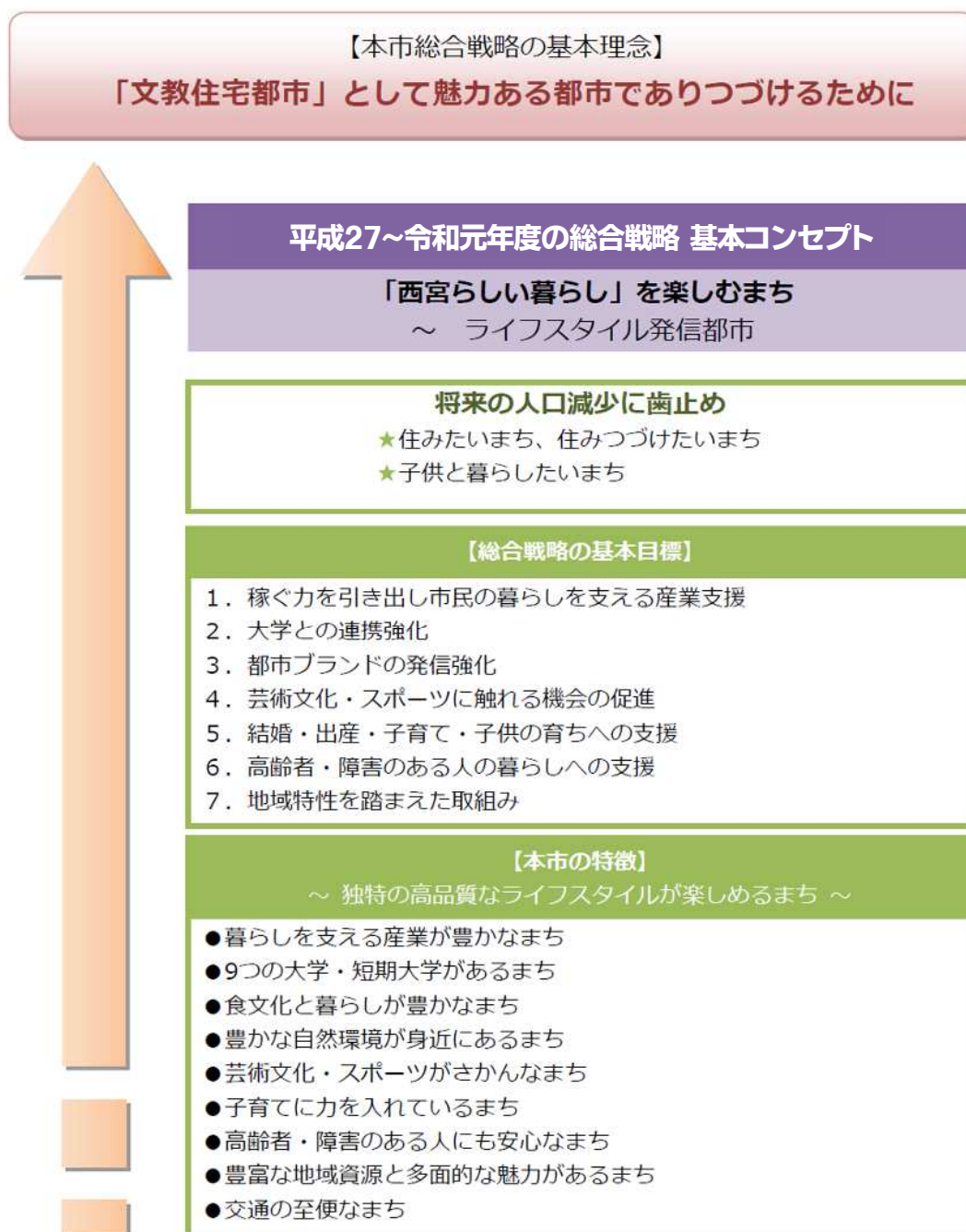
図-1 将来人口展望



【本市の政策目標】

・“「文教住宅都市」として魅力ある都市でありつづけるために”を本市の総合戦略の基本理念として必要な対策を講じていくこととします。

・地域創生の取組にあたっては、「独特の高品質なライフスタイルが楽しめるまち」という本市の特徴を活かし、“西宮らしい暮らし”を楽しむまち～ライフスタイル発信都市”を、平成27～令和元年度の総合戦略の基本コンセプトとして取組を展開します。



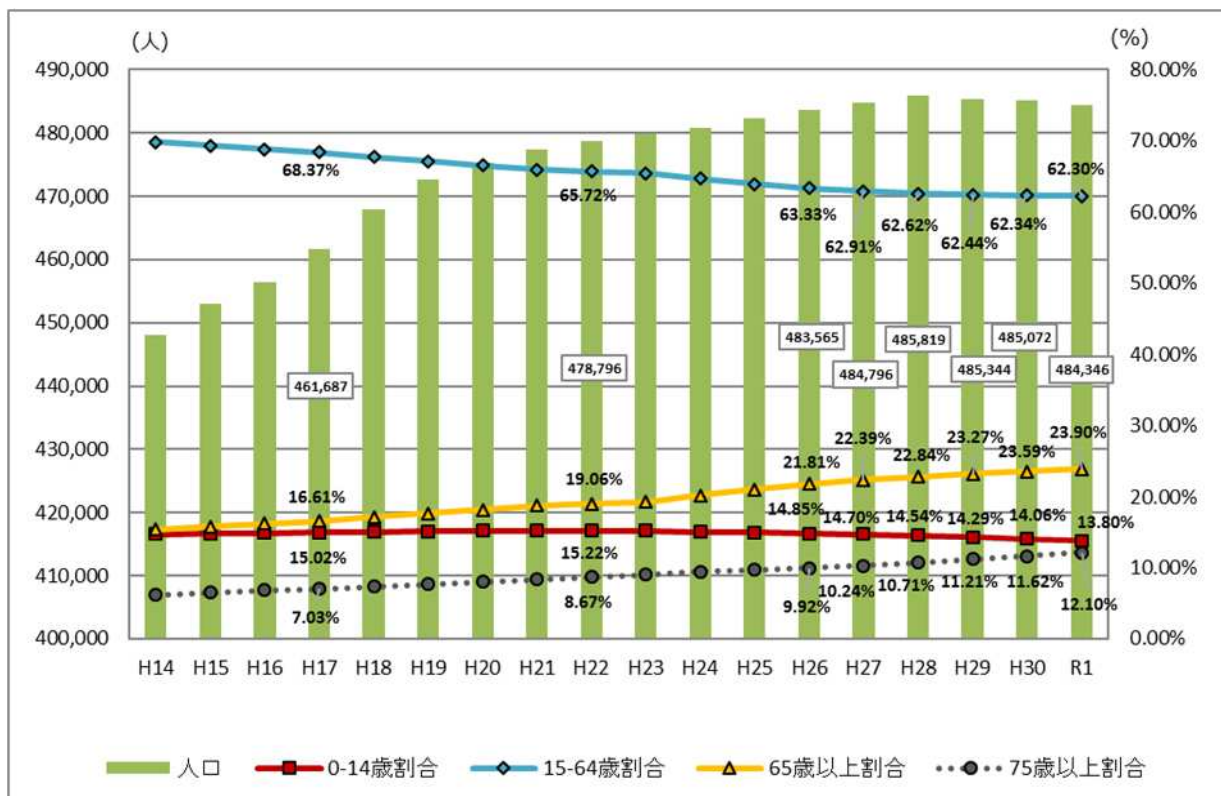
2. 人口の状況

(1) 総人口の推移

- ・令和元年9月末現在の人口は484,346人
- ・H28をピークに総人口は減少傾向にあるが、高齢者（65歳以上）割合は増加

- ・総人口は、第1期総合戦略策定前の平成26年から781人減少
- ・15-64歳の割合は、平成26年から1.03ポイント減少
- ・65歳以上の割合は、平成26年から2.09ポイント増加
- ・0-14歳の割合は、平成26年から1.05ポイント減少
- ・75歳以上の割合は、平成26年から2.18ポイント増加

図-2 総人口の推移



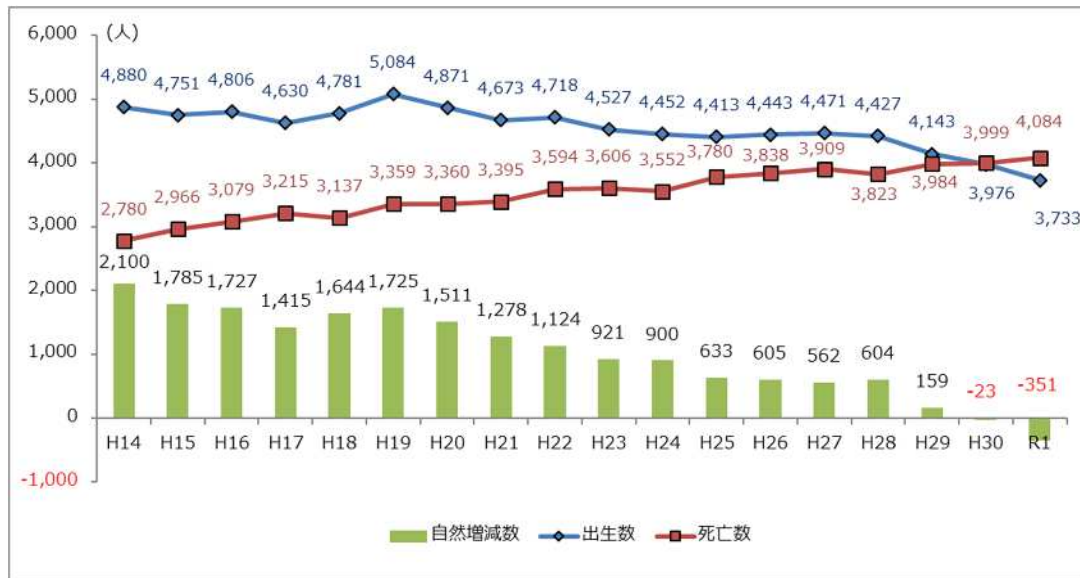
データ：平成14年～令和元年_9月末時点_西宮市住民基本台帳人口

(2) 人口動態の状況

① 自然動態

- ・令和元年の出生数は3,733人で、年々減少しており、平成30年と比べると243人減少した。また、平成28年以降は減少数の傾きが強くなった。
- ・一方で死亡数は年々増加しており、平成30年に比べて85人増加した。なお、自然増減数は、年々減少傾向にあり、令和元年はマイナス351人となり、平成30年に続いて出生数より死亡数が上回った。

図-3 西宮市における出生・死亡数の推移

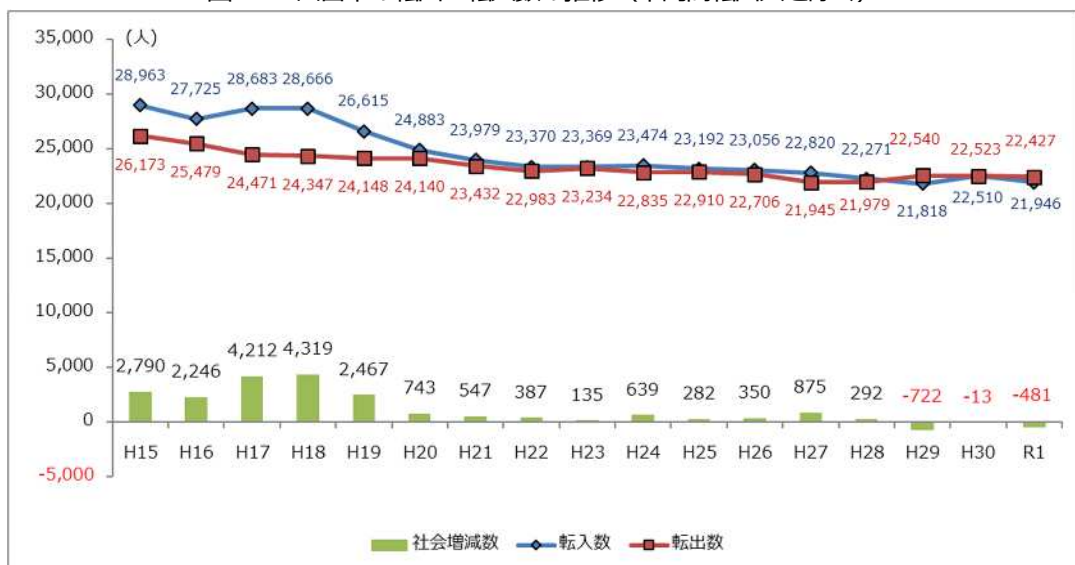


データ：平成14年～令和元年_西宮市住民基本台帳人口

② 社会動態

- ・令和元年の転入数は、21,946人となり、平成30年より564人減少した。
- ・転出数は、22,427人となり平成30年と比較すると96人減少したものの、令和元年の社会増減数はマイナス481人となり3年連続で転出超過となった。

図-4 西宮市の転出・転入数の推移（市内間転出入を除く）



データ：平成14年～令和元年_西宮市住民基本台帳人口

3. 西宮版総合戦略 数値目標に対する達成状況及び取組状況

基本目標(1) 稼ぐ力を引き出し市民の暮らしを支える産業支援

【施策内容の概要】

- ・地域経済の活性化と雇用確保の観点から、競争優位性の高い飲食料品関連産業を中心とする分野における本市産業の競争力強化に取り組みます。
- ・市内で生産された商品やサービスが、消費意識の高い市民等により一層、購買・消費されることで、さらに質の高い商品やサービスの創出、市民のライフスタイルの質の向上につながる、正の経済循環（サイクル）が形成されることを目指します。
- ・企業の社会貢献活動を通じて、本市の地域課題や政策課題に共に取り組む「企業市民」を増やし、持続可能なまちづくりに繋げていきます。

3-1-1. 数値目標に対する達成状況

令和元年度の実績値は判明していないが、平成30年度までの市内総生産【GDP】については、年々増加しており、平成29・30年度は目標値を達成している。一方、市内1事業所当たり製造出荷額等については、目標値を高めを設定していたため、目標値を達成する事はできなかったが、毎年基準値を上回っており、一定の効果は図られたものと思われる。第2期西宮版総合戦略においても、引き続き、産業支援に取り組み、地域経済の活性化や雇用を確保するとともに、市民のライフスタイルの質の向上に努める。

指 標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
市内総生産【GDP】	1兆2,379億円 (H25)	1兆2,493億円	1兆2,384億円	1兆3,489億円	1兆3,689億円	—	1兆2,969億円
市内1事業所当たり 製造品出荷額等	1,545百万円 (H25)	—	1,626百万円	1,756百万円	1,692百万円	—	2,000百万円
市内従業者数	147,324人 (H24)	—	152,049人	—	—	—	160,000人

※「市内総生産【GDP】」については、兵庫県市町民経済計算の概要。H30実績値は、速報値。

※「市内1事業所当たりの製造品出荷額等」については、H28は経済センサス活動調査結果、それ以外は、工業統計調査結果（兵庫県）。

※「市内従業者数」については、経済センサス活動調査（5年毎）結果。次回は、R3、6月実施予定。

3-1-2. 目標達成に向けた取組状況及び実績

① 魅力のある企業へのワンストップ相談の充実

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 稼働力が高い企業、魅力ある企業リストの作成 ・企業訪問で得た情報を基に、既存施策から支援方法を検討するとともに、必要に応じて商工会議所と連携するなどして、産業支援機関の支援情報の提供を行った。また、「経済分析システム・RE S A S」により地域経済を支える製造業や物流業などの企業情報の把握に努め、企業リストの作成及び企業データの整理を行った。					
■ 事業所訪問によるワンストップ相談 ・企業立地サポート事業において市内企業の訪問を行い、ニーズ把握に努めるとともに、各企業に応じた支援制度や支援機関等の紹介を継続して行った。					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
支援対象企業数	—	6件	13件	21件	26件	26件	50件

「支援の対象となる事業所」については、各企業の動向によるため予測が困難ではあるが、毎年一定数の事業所に対し、支援情報の提供や支援機関の紹介を行っており、目標値は達成できなかったものの支援の充実を図ることができた。

② 企業立地・定着の促進

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 市外からの工場移転の新規立地、及び市内企業の市内での移転や増築時の優遇制度の提供 ・企業訪問により、企業の意向を把握し、ニーズに応えるとともに、企業立地奨励金制度の周知・活用の推進を図り制度利用に繋げることができた。					
■ 市外企業の本社機能を市内に移転する場合の優遇制度の創設 ・企業立地促進条例の改正 (H28.3) を行うとともに、企業立地サポート事業において、企業立地奨励金制度の周知・活用の推進を図り制度利用に繋げることができた。					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
企業誘致数 (市内移転含む)【延べ】	3件 (H26)	3件	4件	6件	8件	8件	10件
雇用者数【延べ】	94人 (H26)	94人	113人	152人	290人	290人	500人

・「企業誘致数」については、各企業の動向によるため目標値を達成することはできなかったが、企業立地活動に取り組み、意向のあった事業所に対し、支援を行うことができた。

・「雇用者数」については、目標値を達成することはできなかったものの、企業誘致に伴い雇用者数は年々増加しており一定の進捗を図ることができた。

③産学官連携の推進

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
<p>■ 産学連携による製品開発やテストマーケティング(新製品の試験販売)、販路拡大の支援</p> <p>・市内事業者が大学と連携して西宮ブランド商品の商品開発等を行う場合、「産学官連携による西宮ブランド商品創造補助事業」により補助を行い、試作品開発の支援を行った。</p> <p>・平成29年度より別途コーディネーターに委託し、商品開発のサポートを行った。</p>					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
産学官連携件数【延べ】	—	2件	7件	11件	13件	15件	10件

・「産学官連携件数」については、産学官連携による西宮ブランド商品創造補助事業の実施により目標値を達成することができた。また、西宮ブランド商品創造事業補助金等を活用し、1件商品化された。

④起業・創業支援によるすそ野拡大

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■西宮商工会議所による重点的な経営指導 ・創業支援等事業計画に基づき、窓口指導や巡回指導、過去のスクール参加者へのフォロー等を実施した。					
■セミナー・スクール等による起業者の育成 ・創業支援等事業計画に基づくセミナーやスクールを実施した。また、平成27～29年度には、更なる裾野拡大のための催しとして起業応援フェアを開催した。					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
創業支援による起業者数	64件 (H26)	44件	112件	101件	115件	113件	120件

・「創業支援による起業者数」については、創業支援等事業計画に基づく経営指導等を実施するとともに、セミナー・スクール等を開催し、起業者の支援に努めたが、目標値に達成することができなかったものの、年々起業者数が増加しており一定進捗を図ることができた。

⑤西宮ブランド（産品）の構築

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■西宮ブランド（産品）の選定及び育成(日本酒、パン、ファッション、伝統工芸品、農産物等) ・ふるさと納税の返礼品選定や、西宮和菓子ブランドをPRする「とおかしプロジェクト」を実施したほか、西宮の日本酒をPRする「宮子さんプロジェクト」を展開した。 ・「とおかしプロジェクト」では、平成28年度には商標登録などの準備を行い、平成29年度から参加店による「とおかし」の製造・販売を行った。また、「宮子さんプロジェクト」として平成29年度から市内酒造メーカーと全国展開しているグループ企業と見本市に参加する等連携して取り組んだ。					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
西宮ブランド取扱商品数	—	—	2件	3件	3件	3件	20件

・「西宮ブランド取扱商品数」については、ふるさと納税の返礼品の選定や様々なPR活動を仕掛けたが、目標値に達成することはできなかったものの、取組を通して多くの市内事業者と関わりを持つことができた。

⑥市内産品の販路拡大

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
<p>■ 大量販店と連携した西宮産品の常設販売やイベントの開催(日本酒、スイーツ、農産物等)</p> <p>・市内産品の販路拡大に向けて、市内酒造会社の日本酒商品に使用する「くびかけPOP」を新たに作製し、全国展開しているグループ企業の店舗15店へ提供した。また、蔵開に合わせたイベントを酒蔵地帯にある大型商業施設にて開催した。</p> <p>・西宮市内の店舗にて、市内の和洋菓子・日本酒などが販売された。また、全国展開しているグループ企業については、市外(伊丹市・千葉県新浦安市)の店舗でも西宮産品が販売されたほか、同グループ企業が実施する見本市に平成29年度から出品している。</p>					
<p>■ 卸売業と連携した販路拡大</p> <p>・平成30年度に、市内卸売業者と連携し、大型商業施設において、市内の和洋菓子・日本酒商品などの催事売場を展開する「西宮フェア」を開催した。</p>					



指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
川上～川中～川下企業間のマッチング件数	—	2件	4件	10件	18件	20件	20件

・「川上～川中～川下企業間のマッチング件数」については、市内産品の販路拡大のため卸売業や大量販店と連携し、PR活動を積極的に行ったこともあり、目標値を達成することができた。

⑦市内事業者の受注機会の確保

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
<p>■ 事業内容に応じた市内事業者の受注機会の確保</p> <p>・公正な競争の確保に留意しつつ市内の事業者の受注機会を拡大し、市内経済の活性化を図ることを目的として「西宮市小規模修繕契約希望者登録制度」を設けており、庁内にその制度の周知を行い、活用を促した。</p>					


⑧商店街・商業団体活動の活性化

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R 1
■ 商業団体による事業の企画・実施の支援 ・広報に関する側面的支援を行うとともに、商店街等が実施する無料駐車場や共同便所等の共同施設設置や改修工事に対して補助金を交付した。					
■ 空き店舗活用支援による商店街の活性化 ・制度の周知に努め、空き店舗活用事業等に対し補助条件を満たした申請者に補助金を交付した。					
■ プレミアム付商品券事業 ・消費税率引上げに伴う対策として、対象世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的に実施した。					●
■ キャッシュレス化等対策事業 ・市内小規模事業者や商店街を対象に、キャッシュレス決済導入に向けた支援を行った。					●

⑨「企業市民」との協働

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R 1
■ 公民連携の推進 ・地域貢献活動等に取り組む企業に対する認証制度について、他市の取組状況の研究を行った。					●

⑩ワーク・ライフ・バランスの推進

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R 1
■ ワーク・ライフ・バランス実践企業の把握・顕彰 ・ひょうご仕事と生活センターと積極的に連携し、「ワーク・ライフ・バランス取組宣言企業」の対象となる企業の把握に努めるとともに、その企業数を増やすため、広報紙「労政にのみや」等を通じて「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」制度の周知を行った。					

基本目標(2) 大学との連携強化

【施策内容の概要】

・本市には、9つの特色のある大学、短期大学が立地し、約3万6千人の大学生が通学している「大学のまち」です。今後も市内大学が活力を維持していくための環境づくりや、豊かな地域社会の構築をめざして「大学のまち西宮」を再認識し、それに相応しい都市の魅力づくりに取り組んでいきます。

3-2-1. 数値目標に対する達成状況

目標値を達成しなかったものの、年々、市内大学との連携事業数を増加することができた。しかしながら、令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していたものの実施できなかった事業等があり、前年度と比較すると減少する結果となったが、大学との連携強化は図れたものと考えられる。引き続き、第2期西宮版総合戦略においても、本数値目標達成に向け、事業内容の充実を図るとともに、さらに市内大学との連携強化に取り組む。

指 標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
市と市内大学との連携事業数	37事業 (H26)	48事業	55事業	87事業	90事業	89事業	100事業

※各課が実施する事業において、市内大学と連携した事業数。

3-2-2. 目標達成に向けた取組状況及び実績

①大学と連携した街づくり

主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R 1												
■大学との連携強化を図るための体制整備、市の連携協力窓口の明確化 ・平成28年度に大学連携課を設置し、大学と市の連携強化を図った。		●	→														
■大学の教育・研究環境づくりの充実に向けた大学経営陣との定期的な意見交換、ニーズ把握 ・西宮市大学交流協議会理事会（各大学学長・西宮商工会議所会頭・市長で構成）を開催し意見交換等を行った。また、各大学においては、社会連携担当の部署を新設するなど、連携強化に向けた協力体制ができつつある。		●	→														
■市内外の大学に関する情報の収集 ・大学交流センターウェブサイトを利用し、情報収集・発信に努めた。		●	→														
■大学と連携した政策立案に向けた学生ワークショップ等の開催 ・平成29年度に「大学×まちづくり ワークショップ」を2回開催し、市内各大学から推薦を受けた学生と将来のまちづくりについて意見を聴取した。			●														
■西宮市大学生受入研修（インターンシップ）の実施 ・市内大学より延べ60名を受け入れ、職場体験、市長との座談会、庁内ツアーなどの研修事業を実施した。 【インターンシップ受入状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修受入人数（人）</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R 1	研修受入人数（人）	12	12	12	12	12		●	→		
	H27	H28	H29	H30	R 1												
研修受入人数（人）	12	12	12	12	12												
■市の政策課題について大学生に分かりやすく解説し、意見交換を行う講座の開催 ・インターンシップ研修の中で、市長による講義、意見交換を行った。				●	→												
■大学等施設更新にあわせた機動的な都市計画制度等の運用 ・関西学院大学上ヶ原キャンパス周辺のまちなみづくり基本方針に示した「上ヶ原地域まちづくりビジョン」を策定するとともに、景観地区指定に向けて関西学院と協議・調整を行った。		●	→														
■「大学のまち西宮」の発進強化 ・平成29年度から、西宮市大学交流協議会に委託し「大学のまち西宮」をP Rする冊子を作成するとともに、市内大学生に配布した。また、平成30年度からは、大学生が企画するPR冊子「WANT」を発行した。 ・平成29年3月に、西宮市大学交流センターウェブサイトを開設し、「大学のまち西宮」のP Rに努めるとともに、共通単位講座情報や、「西宮データリンク」「リビング・イン・西宮」「キャリア」など大学生の生活やキャリア形成に寄与する情報の発信にも努めた。		●	→														

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
機動的な都市計画制度等の運用箇所	1箇所 (H26)	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所

・「機動的な都市計画制度等の運用箇所」については、大学施設の更新等に合わせた取組となるため、第1期の期間中に目標値を達成することができなかったが、令和元年度に関西学院周辺地区において、景観地区及び地区計画の都市計画決定に向けた法手続きを進め、令和2年6月に都市計画決定し告示することができた。

②大学の知的財産と市の資産の相互活用

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 大学主催講座など大学が実施する事業の市民への情報提供 ・本庁舎、支所、公民館等の公共施設へのチラシ・パンフレットの配架に加え、西宮市大学交流センターwebサイトを活用し、大学主催の講座やオープンキャンパスの情報を発信した。					

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
大学交流センター研究関連利用件数 (授業含む)	869件 (H26)	909件	922件	983件	895件	910件	1,200件
インターカレッジ西宮大学共同講座受講者数	68人/年 (H26)	35人/年	51人/年	46人/年	75人/年	37人/年	200人/年

・「大学交流センター研究関連利用件数」については、西宮市大学交流センターwebサイトを活用し、大学主催の講座情報を発信した結果、一定の利用件数があったが、目標値を達成することができなかった。特に、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、施設等が休館となったため減少した。

・「インターカレッジ西宮大学共同講座受講者数」については、西宮市大学交流センターwebサイトや市政ニュース等で周知に努めたが目標値を達成することができなかった。特に、令和元年度の大学共同講座については、新型コロナウイルス感染症の影響で後期に3回予定していた講座が1回しか開催することができず、受講者が大幅に減少した。

③大学と地域・企業との交流支援

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 大学・大学生・地域交流イベント（大学交流祭）の開催 ・市内大学・短期大学と連携し「大学のまち・西宮」のPRおよび大学・大学生と地域との交流や地域のにぎわいの貢献を目的に、「大学交流祭」を開催した。また、継続して開催することで、西宮市大学交流センターの認知度の向上を図った。	●	→	→	→	→
■ 学生ビジネスアイデアコンテスト及び市内企業の経営者によるセミナーの開催 ・学生ビジネスアイデアコンテストの1次審査通過者を対象に、市内企業の経営者によるブラッシュアップセミナー等を開催した。	●	→	→	→	→
■ ボランティア交流事業などの大学交流協議会地域連携推進事業への支援 ・西宮市大学交流協議会が行っているボランティア交流事業を支援した。	●	→	→	→	→
■ 市の施策や地域活動を支援する学生ボランティアのコーディネート ・西宮市大学交流協議会の地域連携推進事業として実施した。		●	→	→	→

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
学生ボランティア派遣者数（西宮市大学交流協議会事業）	96人（H26）	84人	78人	83人	62人	74人	150人
大学・大学生・地域交流イベントの来場者数（大学交流祭）	5,000人/年（H26）	6,000人/年	3,000人/年	5,000人/年	6,000人/年	6,000人/年	6,500人/年

・「学生ボランティア派遣者数」については、学生ボランティアのコーディネートを各大学が行っているほか、社会福祉協議会、市民交流センターなど、一般のボランティアコーディネートを含めると様々なチャンネルがあり分散したことが考えられる。また、依頼団体と学生の双方から丁寧に聴き取りを行ったうえでコーディネートをしており、マッチングできないケースもあり、目標値を達成することができなかったが、一定の進捗を図ることができた。

・「大学・大学生・地域交流イベントの来場者数」については、開催場所が屋外のため天候の影響等もあり、目標値を達成することができなかったが、大学と地域の連携の必要性は高まっており、西宮市大学交流協議会の果たす役割はますます重要となっている。

④市内企業と大学生との就職マッチング

主な取組内容	取組状況																																								
	H27	H28	H29	H30	R1																																				
<p>■市内大学、商工会議所、ハローワーク、市が参画する西宮市大学等就職支援情報交換会の設置</p> <p>・西宮市大学等就職支援情報交換会を開催し、地元志向の大学生と市内企業の就職マッチングを行うための情報交換を行った。（参加者：市内大学、西宮若者サポートステーション、市内企業等）</p>		●	→																																						
<p>■合同就職説明会、大学内での面接会、就職支援セミナー、職場見学、インターンシップ等の開催</p> <p>・合同就職面接会（西宮市新卒者企業就職面接会）を開催した。また、令和元年度には、新たに合同会社説明会を実施し、市内企業を知ってもらう機会を増やすことができた。</p> <p>【就職説明会等開催状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接会参加求人企業数(社)</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>同上求職者数(人)</td> <td>-</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>54</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>就職支援セミナー受講者(人)</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合同会社説明会参加企業数(社)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>同上参加者(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	面接会参加求人企業数(社)	-	15	15	15	15	同上求職者数(人)	-	49	70	54	64	就職支援セミナー受講者(人)	-	19	12	-	-	合同会社説明会参加企業数(社)	-	-	-	-	11	同上参加者(人)	-	-	-	-	21		●	→		
	H27	H28	H29	H30	R1																																				
面接会参加求人企業数(社)	-	15	15	15	15																																				
同上求職者数(人)	-	49	70	54	64																																				
就職支援セミナー受講者(人)	-	19	12	-	-																																				
合同会社説明会参加企業数(社)	-	-	-	-	11																																				
同上参加者(人)	-	-	-	-	21																																				
<p>■地元就職応援サイト「サクラナビ」による情報発信の拡充</p> <p>・市内企業の事業内容や福利厚生情報など、発進情報内容の充実を図り、就職支援に関して幅広い情報提供を行った。市として「サクラナビ」の運営を廃止し、平成30年度から運営を開始した「西宮市大学交流センターサイト」において、市内企業や求人情報等の提供を行っている。</p>		●	→																																						

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
マッチング事業による新規就職者数	20人 (H26)	—	12人	32人	46人	55人	100人

・「マッチング事業による新規就職者数」については、雇用情勢が上向きであったため、学生が市主催事業に参加せずとも就職に結びついたこともあり、目標値を達成することができなかったが、一定の進歩を図ることができた。

基本目標(3) 都市ブランドの発信強化

【施策内容の概要】

・本市は、「住みたいまち」として評価され、多様な性格を持った「生活そのものを楽しめる魅力的なまち」というイメージを有しています。この都市イメージを活かし、本市の都市ブランドをさらに高めていくとともに、本市の魅力をPRする情報発信の強化に取り組みます。

3-3-1.数値目標に対する達成状況

調査対象の市区町村が1,000団体ある中で、常に100位前後を維持しているが、目標値には及ばなかった。第2期西宮版総合戦略においても、西宮ブランドの市内外への情報発信の強化に取り組む。

指 標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
地域ブランド調査 (魅力度ランキング)	113位 (H27)	—	96位	77位	119位	114位	60位

※民間企業が全国の都道府県及び市区町村を対象として、消費者からの評価（魅力や経験）と期待（イメージなど）を調査し順位付けしたもの。

3-3-2.目標達成に向けた取組状況及び実績

①西宮の休日の過ごし方の提案

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 多彩な魅力を活用した西宮の休日の過ごし方の提案 ・大人が楽しめるプログラムをまとめた「まちたびこしのみや」と、親子で楽しめるプログラムをまとめた「まちたび for FAMILY」を、平成30年度から、「まちたびこしのみや」に統一し西宮市内で地域の魅力を発信した。					
■ 西宮市観光キャラクター「みやたん」を活用した西宮の魅力のPR ・観光事業だけでなく、市内で開催されるイベント等を中心に出演し、西宮のPRに努めた。 【みやたんがイベント等に出演した回数】					
	H27	H28	H29	H30	R1
イベント等出演回数（回）	248	213	176	144	134

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
実施プログラムへの参加者数	—	2,506 人/年	3,010 人/年	3,713 人/年	2,836 人/年	2,621 人/年	10,000 人/年

・「実施プログラムへの参加者数」の目標値については、事前申込型のイベント参加者に加え、当日参加が可能な自由来訪型のイベント参加者を含む数値としていたが、主催者が発表する数値については、正確性を欠くことも考えられるため、実績値については、事前申込型のイベント参加者数のみとしたため、目標値を達成することができなかった。

②西宮ブランド（産品）の情報発信の強化

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■西宮ブランド（産品）の情報発信 ・観光案内所での販売などを通じて、西宮ブランドの発信に取り組んだ。また、平成28年度から、ふるさと納税について、返礼品の送付を開始した。 ・近隣市や灘五郷酒造組合、阪神電鉄などと連携して、「日本酒」や「阪神間モダニズム」をテーマに事業を展開し、西宮ブランドの発信に取り組んだ。					
■日本酒振興プロジェクトの実施 ・日本酒振興プロジェクトとして、蔵開や日本酒学校などを開催した。また、PRキャラクターを活用して、西宮の日本酒の魅力発信と販路拡大を図った。					

③主要駅等での情報発信拠点の整備

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■観光案内所の運営 ・駅利用者および市民、観光客への案内業務や観光協会と連携した団体客誘致業務などを通じ、酒蔵ツーリズムを中心とした観光情報の発信を行った。 ・平成30年10月に阪神西宮駅に酒蔵ツーリズムのための情報発信拠点である「阪神西宮おでかけ案内所」を設置した。					

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
観光案内所の利用者数	29,106 人/年 (H26)	35,379 人/年	67,212 人/年	29,890 人/年	9,118 人/年	12,359 人/年	50,000 人/年

・「観光案内所の利用者数」については、開設している観光案内所の減少等に伴い、目標値を達成することができなかった。

④市内外への積極的な情報発信

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
<p>■インターネット等を活用した効果的な情報発信</p> <p>・平成29年3月に、本市で暮らすことの豊かさや楽しさを伝えるとともに、様々な魅力を市内外に発信するため、シティプロモーションサイト「西宮 commons」を開設。令和元年9月まで民間委託による運用を行った。令和元年10月より、本市の多様な魅力を伝えるポータルサイトとして市ホームページ内にリニューアルを行った。その際、教育委員会で運用していた「学校プロモーションサイト」を統合した。また、市政ニュースなど他の広報媒体も活用し魅力発信を行った。</p>					

基本目標(4) 芸術文化・スポーツに触れる機会の促進

【施策内容の概要】

・本市では、進取の気風のもと、市民が主体となって芸術・文化活動やスポーツ活動が活発に行われています。市内外の方々に積極的、効果的な情報発信を行い、本市で楽しみながら質の高い生活ができることを情報発信します。

3-4-1. 数値目標に対する達成状況

施設の老朽化が進み、施設を長期休館して実施する改修工事の影響もあり、各年度において目標数値を達成することができなかった。特に令和元年度は、大規模工事による市民会館の長期休館に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、大幅減となった。また、スポーツクラブ21の会員数については、少子化はもとより、競合する民間スポーツクラブの充実、習い事の多様化や共働き家庭の増加等ライフスタイルの変容など様々な要因により遞減し続けており、目標値を達成することはできなかった。引き続き、第2期西宮版総合戦略においても、市民が主体となって芸術・文化活動やスポーツ活動が活発に行われるよう取り組む。

指 標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
市民主催の芸術文化企画数	551件 (H26)	514件	535件	523件	537件	441件	580件
スポーツクラブ21の会員数	13,729人 (H26)	13,372人	12,347人	12,993人	12,266人	11,920人	15,000人

※「市民主催の芸術文化企画数」については、各ホールの利用申込件数。

※「スポーツクラブ21の会員数」については、登録している会員数。

3-4-2. 目標達成に向けた取組状況及び実績

① 市民の芸術文化への参加促進

主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R1												
<p>■ 地域に密着した芸術文化活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点の40を超える市民合唱団合同による市民コーラス大会や、西宮神社のくぐつ師の歴史に端を発する人形劇祭り等、主体的な市民参画事業に取り組んだ。また、子供が主体となり家族と一緒に気軽に芸術文化に触れられるワークショップや、公民館など身近な場所で芸術文化と出会う機会を提供する事業を実施した。 ・平成28年度には、大谷記念美術館の企画展と連携した事業を実施した。また、友好都市である橿原町に西宮の市民オペレッタ劇団を派遣し、文化交流を行った。 	●————→																
<p>■ 文化施設の有効活用や利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率向上のため、西宮市市民ホール条例の改正を行うとともに、機能向上のため老朽化した各施設の更新やピアノのオーバーホール等を行った。 	●————→																
<p>■ 西宮市大谷記念美術館の学芸員による児童・生徒を対象にした美術鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校アウトリーチ事業において、児童を学年単位で大谷美術館に迎え、学芸員による鑑賞会を実施した。 <p>【鑑賞会実施状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大谷美術館での鑑賞会(件)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各校での鑑賞会4件が中止となった。</p>		H27	H28	H29	H30	R1	大谷美術館での鑑賞会(件)	4	8	10	8	5	●————→				
	H27	H28	H29	H30	R1												
大谷美術館での鑑賞会(件)	4	8	10	8	5												
<p>■ 市施設等を活用したアートイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27・28年度には、「無名の彫刻：西宮」と題した写真展をフェイスブックページにて発信した。また、平成28年度には、独身者限定の写真撮影会を開催した。 ・平成28・29年度には、京都工芸繊維大学と連携し、大学生から市関係者向けに市内施設の利活用案を発表する文化事業開催施設発掘利活用会議を開催した。 ・平成29年度には、施設利活用芸術文化イベント企画委員会を中心に「まちなかアートフェスタ in 日市宮甲子園春風町住宅」を企画し、市内小学生とその保護者によるお絵かきアートを実施した。 	●————→																

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
市及び文化振興財団の事業参加者数	137,373 人/年 (H26)	132,831 人/年	128,227 人/年	131,997 人/年	129,133 人/年	110,437 人/年	160,000 人/年
市民ホールで開催された文化事業の来場者数	202,086 人/年 (H26)	197,727 人/年	208,294 人/年	206,099 人/年	195,076 人/年	180,080 人/年	245,000 人/年

西宮市大谷記念美術館の来館者数	55,977 人/年 (H26)	46,761人 /年	103,375 人/年	60,918人 /年	59,094人 /年	53,112人 /年	60,000 人/年
-----------------	------------------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

- ・「市及び文化振興財団の事業参加者数」については、文化振興財団自主事業において、多くの集客が可能なコンサート形式の事業だけでなく、専門職員の登用により企画されたワークショップ形式でのより少数を対象とした事業を複数展開したため、参加者としては遞減したが、より多角的な事業実施に繋がった。
- ・「市民ホールで開催された文化事業の来場者数」については、天井耐震化工事のため令和元年度中にアミティホールを3か月閉館したことや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値を達することができなかった。
- ・「西宮市大谷記念美術館の来館者数」については、目標値を達成できなかった年度があったものの、開催された企画展が好評を博すなど、多くの方に来館いただいた。

②市民文化を担う人材の育成と活用

主な取組内容	取組状況																												
	H27	H28	H29	H30	R 1																								
■プロのアーティストの小中学校への派遣（アウトリーチ事業） ・音楽、美術、ダンスのプロアーティストを小中学校へ派遣した。 【分野別派遣状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽（件）</td> <td>9</td> <td>28</td> <td>45</td> <td>54</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>美術（件）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ダンス（件）</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R 1	音楽（件）	9	28	45	54	54	美術（件）	-	-	-	1	1	ダンス（件）	2	2	-	3	1					
	H27	H28	H29	H30	R 1																								
音楽（件）	9	28	45	54	54																								
美術（件）	-	-	-	1	1																								
ダンス（件）	2	2	-	3	1																								
■市民が提案する事業に市が連携する協働事業提案の実施 ・市民主体で企画・実施する文化芸術事業を、事業提案制度により広報や助成等の支援を行った。 【応募及び採択件数】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募件数（件）</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>採択件数（件）</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R 1	応募件数（件）	13	10	8	8	12	採択件数（件）	10	6	7	7	7											
	H27	H28	H29	H30	R 1																								
応募件数（件）	13	10	8	8	12																								
採択件数（件）	10	6	7	7	7																								
■文化を担う人材の育成（イベント企画講座等） ・「ワークショップフェスティバル・西宮ドアーズ」事業において、講師やスタッフの公募を実施し、文化を担う人材の発掘や育成にも取り組んだ。 ・イベント企画講座等を開催し、広報や企画、収支運営などについて学ぶ機会を創出した。また、平成28年度には、大学交流センターと共催で学生、一般を対象にテーマごとに受講できるよう変更し、人材育成を図った。																													

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
西宮市小中学校アウトリーチ事業の参加児童数	—	1,955 人/年	4,368 人/年	6,541 人/年	7,682 人/年	6,780 人/年	5,400 人/年
協働事業提案（芸術文化振興部門）の採択件数	7件 (H26)	10件	6件	7件	8件	7件	12件

- ・「西宮市小中学校アウトリーチ事業の参加児童数」については、全校での実施には至っていないが、応募校数の増に加えて、複数学年での応募が増えたことにより、目標の参加児童数は達成した。
- ・「協働事業提案（芸術文化振興部門）の採択件数」については、採択件数の増とはならなかったが、応募件数は、増加させることができた。

③文教住宅都市を支える学術的事業の拡充

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ ライフサイエンスセミナー及び西宮湯川記念事業の拡充 ・西宮湯川記念事業については、「西宮湯川記念賞」の贈呈式を、より多くの市民に見てもらうように、平成28年度より会場を本庁舎会議室からフレンテホールへと移し、参加者の増加を図った。					

④スポーツの楽しさを体感できるまち、トップスポーツゲームを観戦できるまちの実現

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ スポーツの素晴らしさ、楽しさを伝え、また技術が向上できる取組の実施 ・「するスポーツ」の観点から、スポーツの楽しさや魅力に触れる機会を提供し、より多くの市民がスポーツをするきっかけを作るため、アスレチック・リエゾン・西宮との協働により陸上競技、サッカー、バスケットボールなどの各種スポーツ体験会や学校・部活動訪問を実施した。また、東京2020オリンピック・パラリンピック1年前イベントを開催し、機運の醸成を図った。					

基本目標(5) 結婚・出産・子育て・子供の育ちへの支援

【施策内容の概要】

- ・子供たちを安心して生み育てていくことができるよう、子供たちの健やかな成長を地域全体で見守る「子育てにやさしいまち」を目指していきます。
- ・「子育てが楽しい」「西宮で子育てがしたい」「西宮で教育を受けさせたい」まちであり続けるための施策を推進していきます。

3-5-1.数値目標に対する達成状況

「合計特殊出生率」については、5年毎に数値が公表されるため、年度毎の達成状況について把握できていないが、平成27年度（H25～H29）の実績では目標値を達成することができた。第2期西宮版総合戦略においては、年度毎の達成状況が把握できるよう保健所が算出している合計特殊出生率にて状況把握に努める。

【参考】本市保健所で毎年算出している合計特殊出生率

(H22) 1.34、(H23) 1.33、(H24) 1.36、(H25) 1.37、(H26) 1.42
(H27) 1.45、(H28) 1.47、(H29) 1.42、(H30) 1.41

「子育てを楽しんでいる親の割合」については、概ね目標値を達成することができた。

今後も妊娠期からきめ細かな支援を行い、安心して出産、子育てができるよう取組を進める。

指標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
合計特殊出生率	1.32 (H22)	1.47	-	-	-	-	1.41
子育てを楽しんでいる親の割合	就学前 58.6% (H25)	-	-	-	69.2%	-	65.0%
	小学生 60.2% (H25)	-	-	-	63.4%	-	65.0%

※「合計特殊出生率」については、厚生労働省が国勢調査を中心とした5年間を取りまとめた統計情報「人口動態 保健所・市区町村別統計」。

基準値は「平成20年～平成24年統計値」(平成27年2月公表)、実績値は、「平成25年～平成29年統計値」(令和2年7月に公表)。

※「子育てを楽しんでいる親の割合」については、西宮市子ども・子育て支援事業計画の策定又は中間見直しの際に実施するアンケート調査結果。

3-5-2.目標達成に向けた取組状況及び実績

①「結婚したい」「子育てしたい」と思えるための取組み

主な取組内容	取組状況																						
	H27	H28	H29	H30	R1																		
■ 独身者を対象としたスポーツ・文化事業の取組 ・平成28年度に独身者限定のマラソン教室及び写真撮影会を実施したが大きな効果は得られなかった。平成29年度には、結婚を後押しするため、西宮市に婚姻届を提出するカップルを対象に、市役所内の会議室で挙式を挙げる「届け出挙式」を2回実施し、計6組の利用があった。		● →																					
■ ライフスタイルを切り口とする情報発信の強化、定住促進 ・平成29年3月より「シティプロモーションサイト」と「学校プロモーションサイト（教育委員会）」を運用していたが、令和元年10月に市ホームページ内に「シティプロモーションポータルサイト」としてリニューアルした。また、市政ニュースや市公式SNSなどの広報媒体を活用し、市の多様な魅力を発信した。		● →																					
■ 赤ちゃんとその保護者と小・中・高校生とのふれあいの機会の提供 ・平成28年度から市立小・中・高等学校において、赤ちゃんの世話をする「育児体験」のほか、ママ講師から「赤ちゃんが生まれたときはなし」を聞くなど、赤ちゃんと触れ合う機会を提供した。		● →																					
■ 学童期からの心身の発育や性に関する正しい知識の提供、支援体制の情報提供 ・小学校4年生を対象に、思春期講座を夏休みに実施し、子ども達の自尊心を高め、他者への尊重の気持ちを育むことができた。また、地域から性に関する出前健康講座の要請があれば地域にて講座を実施した。 【講座開催状況】					● →																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>思春期講座（回）</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>出前健康講座（回）</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	思春期講座（回）	2	2	2	2	2	出前健康講座（回）	8	5	6	5	7					
	H27	H28	H29	H30	R1																		
思春期講座（回）	2	2	2	2	2																		
出前健康講座（回）	8	5	6	5	7																		

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
対象イベントの開催数 【延べ】	—	—	2回	4回	4回	4回	6回

・「対象イベントの開催数」については、観光やスポーツにちなんだイベントで出会いの機会を創出する取組として、平成28年度に独身者限定のマラソン教室及び写真撮影会を、平成29年度には、結婚を後押しするため、市役所内の会議室で挙式を挙げる「届け出挙式」を実施したが、大きな効果は得られなかったため、平成30年度以降は実施に至っておらず、目標を達成することができなかった。

②妊娠から出産に至るまでの支援




主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R1												
■ 妊婦健康診査への費用助成 ・平成27年度から、助成上限額を82,000円まで引上げ、妊婦に対し妊婦健診受診助成券を交付した。 助成上限額内訳：11,000円券×2回、5,000円券×12回																	
■ 特定不妊治療への助成 ・国の要綱に沿って、体外受精・顕微授精を受けられた夫婦に対し、医療保険が適用されない治療費の一部を助成した（所得制限・助成回数制限あり）。 【特定不妊治療の助成実施状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数（件）</td> <td>765</td> <td>736</td> <td>690</td> <td>725</td> <td>693</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	助成件数（件）	765	736	690	725	693					
	H27	H28	H29	H30	R1												
助成件数（件）	765	736	690	725	693												
■ 不妊治療に対する理解の普及及び心理的障壁の緩和 ・市ホームページ等に、県所管の「不育・不妊専門相談」の広報と合わせて制度の普及啓発を実施したほか、令和元年度に不妊専門相談センターを設置し、電話による相談窓口を開設した。																	
■ 不育治療への助成 ・県の要綱に沿って、不育症の検査・治療を受けられた夫婦に対し、医療保険が適用されない治療費の一部を助成した（所得制限・助成回数制限あり）。 【不育治療の助成実施状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数（件）</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	助成件数（件）	-	0	4	0	3					
	H27	H28	H29	H30	R1												
助成件数（件）	-	0	4	0	3												

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
母子健康手帳交付時における保健師の面接率	36.7% (H26)	36.0%	68.7%	70.5%	69.6%	72.5%	95%

・「母子健康手帳交付時における保健師の面接率」については、保健師がいない支所の窓口での交付を継続したため、目標値を達成することができなかった。第2期西宮版総合戦略においては、交付時の面接率を向上させるため交付窓口の集約を図る。

③子育て支援の充実

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
<p>■妊産婦や0歳から就学前の子育て家庭のニーズに合わせて情報提供や相談援助を行う「利用者支援事業」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みや困りごとについて、専門員である子育てコンシェルジュが妊産婦等の話を聞きながら一緒に考え、必要な子育て支援サービスにつながるサポートを行った。 <p>〔開設箇所〕</p> <p>基本型：子育て総合センター、関西学院こどもセンター「さぼさぼ」、クアほぼ（北部地域）、ふたばっこ</p> <p>特定型：本庁舎1階10番窓口</p> <p>母子保健型：本庁舎1階10番窓口、保健福祉センター（5箇所）</p>					
<p>■子育て支援に関する情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にのみや子育てガイド（冊子）及び子育て便利マップ・子育て施設マップ等を発行・配布した。また、平成29年4月より西宮市子育てアプリ「みやハグ」の運用を開始し情報発信の多重化を図った。 					
<p>■地域の子育て家庭が集える場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学前の子（主に0歳～3歳）と保護者がいつでも気軽に立ち寄り、子どもと一緒に遊んだり、保護者同士が交流でき、また日々の子育ての疑問や悩みをスタッフに相談できる子育てひろばを整備し、21か所まで拡充した。 					
<p>■保育料の決定などでの未婚のひとり親家庭に対する寡婦（夫）控除のみなし適用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から広報に努め、平成28年度から保育所保育料等や私立幼稚園就園奨励助成金について適用した。 					
<p>■民間施設の赤ちゃんの駅の登録・公表の実施、移動式赤ちゃんの駅貸出の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授乳室やおむつ交換台などを提供することができる施設を西宮市子育てバリアフリー施設「赤ちゃんの駅」として登録し、目印となるステッカーを建物入口等に貼付するとともに、市のホームページ上で公表した。また、西宮市内で開催されるイベント等において、乳幼児を連れた保護者等が安心して参加できるように移動が可能なテントや折りたたみ式オムツ交換台を「移動式赤ちゃんの駅」として貸出を開始した。 					
<p>■こども未来センターを拠点とした新しい支援のしくみの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の社会性の発達について、保護者と客観的な結果を共有し、子供の発達の理解を深めてもらうツールとして継続的にかおテレビ（視線計測装置）を活用した。また、学校園や事業所等に対する研修・アウトリーチによるスキルの向上や子供に対する支援の充実、通園療育や診療・リハビリテーションによる子供の発達過程に必要な支援、診察前親子教室（ほっこり広場）やペアレント・プログラムを実施するなど、保護者支援の充実を図った。さらに、発達障害などについて広く市民の理解を深めるため、市民講演会を実施した。 					

<p>■救急医療の充実</p> <p>・平成27年4月から「阪神北広域こども急病センター」との連携を開始し、深夜0時以降の小児科医療に対応できるよう体制を整備した。また、平成27年7月から健康・医療・子育て等の相談に24時間年中無休で応じる「健康医療相談ハローにしのみや」を開始し、それまで手薄だった深夜帯における小児救急医療体制を強化することができた。さらに、令和元年から、在宅当番医の当番回数を増やすことで医療体制の充実を図った。</p> <p>【受診状況等】</p> <table border="1" data-bbox="220 488 1018 734"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども急病センター受診者数(人)</td> <td>592</td> <td>739</td> <td>594</td> <td>609</td> <td>506</td> </tr> <tr> <td>ハローにしのみや利用件数(件)</td> <td>13,325</td> <td>18,761</td> <td>19,056</td> <td>21,233</td> <td>18,881</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	こども急病センター受診者数(人)	592	739	594	609	506	ハローにしのみや利用件数(件)	13,325	18,761	19,056	21,233	18,881					
	H27	H28	H29	H30	R1																		
こども急病センター受診者数(人)	592	739	594	609	506																		
ハローにしのみや利用件数(件)	13,325	18,761	19,056	21,233	18,881																		
<p>■乳幼児や子供への医療費助成</p> <p>・平成27年度に市単独事業として、これまで助成対象外だった就学前児童についての所得制限を見直し、健康保険診療による医療費の自己負担額の全額、または一部負担金を控除した額を助成した。</p>																							
<p>■助産師による産後ケア訪問の実施</p> <p>・北口保健福祉センターに加え、中央保健福祉センター、鳴尾福祉センターにも嘱託助産師を増員し、心身のケアや育児支援の必要な妊産婦に対し継続訪問等を行った。</p>																							

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)の実施箇所数	15箇所 (H26)	17箇所	18箇所	20箇所	20箇所	21箇所	20箇所

・「地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)の実施箇所数」については、目標値を達成しているが、保育需要の増加に伴い、利用者数が年々増加しているため、今後も地域的な状況など必要に応じた検討を行い、子育てに関する施設や事業を円滑に利用できるよう努める。

④保育サービスの充実

主な取組内容	取組状況																																		
	H27	H28	H29	H30	R1																														
<p>■ 保育施設の新規開設や定員増による保育所待機児童の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育需要が高い地域を中心に待機児童対策を推進し、民間保育所・認定こども園・小規模保育事業の新設整備や建替え、既存園の認定こども園への移行、私立幼稚園預かり保育補助により保育受入れ枠の拡大を図った。 <p>【受入拡大枠状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入枠拡大数(人)</td> <td>114</td> <td>151</td> <td>167</td> <td>765</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	受入枠拡大数(人)	114	151	167	765	229																							
	H27	H28	H29	H30	R1																														
受入枠拡大数(人)	114	151	167	765	229																														
<p>■ 不足する民間保育所の保育士確保を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の確保・定着を目的とし、平成29年度から保育士宿舍借り上げ支援事業、平成30年度から保育士奨学金返済支援事業に加え、令和元年度から保育士を補助する者に係る人件費に対する補助（保育体制強化事業）を実施した。 ・保育士就職フェアおよび保育士リクルートバスツアーを実施したほか、市内保育士養成校での就職フェア等も実施し保育士確保に努めた。 <p>【支援等状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就職フェア開催(回)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>同上参加者(人)</td> <td>56</td> <td>154</td> <td>221</td> <td>211</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>バスツアー開催(回)</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>同上参加者(人)</td> <td>-</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>44</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	就職フェア開催(回)	1	2	2	2	2	同上参加者(人)	56	154	221	211	147	バスツアー開催(回)	-	4	2	2	2	同上参加者(人)	-	30	13	44	28					
	H27	H28	H29	H30	R1																														
就職フェア開催(回)	1	2	2	2	2																														
同上参加者(人)	56	154	221	211	147																														
バスツアー開催(回)	-	4	2	2	2																														
同上参加者(人)	-	30	13	44	28																														
<p>■ 発達に課題のある児童に対する加配保育士の配置の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害やその他ケアが必要な児童が年々増えており、より細やかな支援を行うため、平成27年度より加配保育士の配置を3：1から2：1に拡充した。 <p>【保育士配置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置人数(人)</td> <td>40</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	配置人数(人)	40	46	48	53	63																							
	H27	H28	H29	H30	R1																														
配置人数(人)	40	46	48	53	63																														
<p>■ 病児保育の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設型病児保育施設は5年間で2か所から5か所に増設した。平成27年度から実施施設に対し支出する委託料に上乗せする市独自の制度を新設した。また、訪問型病児・病後児保育料助成制度も新設し、病児保育の拡充に努めた。 <p>【支援等状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設型病児保育利用者数(人)</td> <td>739</td> <td>773</td> <td>1,647</td> <td>1,649</td> <td>1,901</td> </tr> <tr> <td>訪問型病児保育等制度利用者数(人)</td> <td>75</td> <td>29</td> <td>88</td> <td>67</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	施設型病児保育利用者数(人)	739	773	1,647	1,649	1,901	訪問型病児保育等制度利用者数(人)	75	29	88	67	72																	
	H27	H28	H29	H30	R1																														
施設型病児保育利用者数(人)	739	773	1,647	1,649	1,901																														
訪問型病児保育等制度利用者数(人)	75	29	88	67	72																														

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
保育所待機児童数	76人 (H27)	183人	323人	413人	253人	345人	0人

注) 基準値及びH27・28の実績値は旧定義によるもの。

・保育施設の新規開設や保育士確保等の保育サービスの充実に努めたが、女性就業率の上昇や雇用情勢の変化による共働き家庭の増加、幼児教育・保育の無償化による影響等から保育需要率は増加の一途を辿っており過去最大の伸び幅となったため、目標値を達成することができなかった。

⑤子供の居場所の充実

主な取組内容	取組状況																												
	H27	H28	H29	H30	R1																								
<p>■留守家庭児童育成センターの充実</p> <p>・小学4年生受入れを13施設（全41施設）において通年で実施した。また、小学校休業日において、開所時間を8時に繰り上げ実施した。</p>	●————→																												
<p>■子供の居場所づくり事業、放課後子供教室事業の推進</p> <p>・「子供の居場所づくり事業」は、子供の自由な居場所の提供と育ちを支えるため、各校区で事業を実施した。また、これまでの試行を生かし、留守家庭児童育成センターの待機児童対策にも繋がるよう、事業実施時間を拡大するなどした「放課後キッズルーム事業」を令和元年度から実施した。さらに「放課後子供教室事業」は、地域の方々の参画を得て、様々な体験学習や交流事業を行った。</p> <p>【放課後子供教室事業の実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施地区（地区）</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>実施回数（回）</td> <td>1,417</td> <td>1,506</td> <td>1,532</td> <td>1,459</td> <td>1,228</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	実施地区（地区）	36	36	36	35	36	実施回数（回）	1,417	1,506	1,532	1,459	1,228	●————→										
	H27	H28	H29	H30	R1																								
実施地区（地区）	36	36	36	35	36																								
実施回数（回）	1,417	1,506	1,532	1,459	1,228																								
<p>■小学4年生から中学生を対象とした文化的講座「宮水ジュニア」事業の実施</p> <p>・一部の講座については、企画運営をNPO法人や学校法人、公民館定期使用グループなどに委託し、各公民館において講座を実施した。</p> <p>【宮水ジュニアの実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数（講座）</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>45</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>実施回数（回）</td> <td>335</td> <td>349</td> <td>324</td> <td>310</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>参加人数（人）</td> <td>6,666</td> <td>7,126</td> <td>6,670</td> <td>5,702</td> <td>4,730</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響で、「宮水ジュニアまつり」及び講座を31回中止とした。</p>		H27	H28	H29	H30	R1	講座数（講座）	50	53	52	45	44	実施回数（回）	335	349	324	310	256	参加人数（人）	6,666	7,126	6,670	5,702	4,730	●————→				
	H27	H28	H29	H30	R1																								
講座数（講座）	50	53	52	45	44																								
実施回数（回）	335	349	324	310	256																								
参加人数（人）	6,666	7,126	6,670	5,702	4,730																								

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
留守家庭児童育成センター小学4年生の受入れ施設数	2施設 (H27モデル実施)	2施設	4施設	9施設	11施設	13施設	15施設

・「留守家庭児童育成センター小学4年生の受入れ施設数」については、利用児童数が増加している施設では4年生受入れの実施が難航したが、公共施設の転用や施設の新築により計13施設において小学4年生の受入れができた。目標値は達成できなかったものの、一定進捗を図ることができた。

⑥良好な教育環境の提供と信頼される学校づくり

主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R1												
<p>■ 学校園の教育目標の実現を支援する「自主・自律の学校応援事業」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校園において、地域の参画と協働により、子供や地域の実態を踏まえ、インクルーシブ教育、小中一貫教育、防災教育、学校図書館教育等の推進や、地域の未就園児に開かれた幼稚園づくり、学力向上を目指した取組等による特色ある学校づくりを支援した。 <p>【自主・自律の学校応援事業の実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校数 (校)</td> <td>24</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>47</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	実施校数 (校)	24	35	38	47	27					
	H27	H28	H29	H30	R1												
実施校数 (校)	24	35	38	47	27												
<p>■ ICTを活用した授業の実施と情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者用デジタル教科書を学校管理サーバへの導入からセンターサーバ配信に方式を変更するなどの基盤更新整備を行い、利便性の向上に努めた。また、ICTを活用した授業の実践の研究や研修を推進することができた。 																	
<p>■ 小・中・市立高等学校への外国人外国語指導助手の配置による国際教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人外国語指導助手を市内市立小・中・高等学校に全校配置した。 小学校は半期で週1～2日、中学校は半期で常勤（小規模校は週3～4日）配置とし、モデル校で小中各1校に通年配置とした。また、高等学校にもこれまでの通年で常勤1人配置から、半期で複数配置とした。そのほか、小学校への地域人材の活用事業を活用し、小学校外国語活動及び外国語科の授業において、英語が堪能な人材が授業補助や学習支援を行った。 																	
<p>■ 小・中・特別支援学校における自校調理実施による安全でおいしい給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校自校調理方式での給食を実施した。また、設備機器の更新、物資評価委員会の開催、食材の放射能検査を実施し、安全でおいしい給食を提供できるよう努めたほか、空調設備のない給食室について、計画的に空調整備工事を行った。 																	
<p>■ 学校給食のアレルギー対応強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者から提出されたアレルギー献立チェック表の情報を教職員が共有し、学校給食における食物アレルギー対応マニュアルに沿って、除去食対応と除去対応を基本とする対応を行った。また、学校給食献立作成・アレルギー管理システムを安定的に運用した。 																	

<p>■小・中学校全校への特別支援教育支援員の配置等によるインクルーシブ教育の充実</p> <p>・LD、ADHD等により学習、行動面で著しく不安定な児童・生徒や在籍する学級支援のため、継続して特別支援教育支援員を配置した。また、令和元年度より新たに肢体不自由等で介助が必要な児童生徒の支援のために介助支援員を小・中学校に配置した。</p>																							
<p>■学校施設における空調設備の整備</p> <p>・平成28年度で小・中学校の普通教室への空調設備の整備を完了した。一方、全館空調型設備を既に導入している施設については、設備の老朽化が進み、各教室の温度を均一に保てない、冷暖房効率が悪くなるなどの問題が発生しているため、令和元年度から個別空調型設備への計画的な更新に着手した。</p>																							
<p>■生徒指導事業（スクールソーシャルワーカー）の拡充</p> <p>・スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置し、学校・家庭・地域の関係機関をつなぎ、子供の悩みや抱えている問題解決に向けた支援ができる環境を整えた。</p>																							
<p>■不登校児童生徒の適応指導教室の再編・拡充事業</p> <p>・休園となっている鳴尾北幼稚園施設を活用して2か所目の適応指導教室を整備し、より学校に近い環境で社会復帰や学校復帰を目指した教育的支援を行った。</p>																							
<p>■私立幼稚園の就園に対する支援</p> <p>・所得制限を撤廃するとともに、一部国の基準を上回る補助単価を設定し、幼児教育に係る保護者負担軽減を実施した。ただし、令和元年10月から開始の幼児教育・保育の無償化に伴い、9月利用分をもって終了した。</p> <p>【支援状況】</p> <table border="1" data-bbox="220 1122 1023 1384"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象人数（人）</th> <th>助成金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>7,057</td> <td>853,738,675</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6,971</td> <td>851,811,025</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6,772</td> <td>823,751,535</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6,584</td> <td>811,414,975</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>6,117</td> <td>383,707,310</td> </tr> </tbody> </table>		対象人数（人）	助成金額（円）	H27	7,057	853,738,675	H28	6,971	851,811,025	H29	6,772	823,751,535	H30	6,584	811,414,975	R 1	6,117	383,707,310					
	対象人数（人）	助成金額（円）																					
H27	7,057	853,738,675																					
H28	6,971	851,811,025																					
H29	6,772	823,751,535																					
H30	6,584	811,414,975																					
R 1	6,117	383,707,310																					

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
全国学力・学習状況調査における偏差値が全国平均を上回った教科（知識/活用）の割合	100% (H26)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
小・中学校の普通教室への空調設備の設置	63.3% (H26)	82%	100%	100%	100%	100%	100%

- ・「全国学力・学習状況調査における偏差値が全国平均を上回った教科（知識/活用）の割合」については、実施した全教科において、西宮市の平均正答率が、全国平均を上回った。
- ・「小・中学校の普通教室への空調設備の設置」については、平成28年度に小学校11校へ空調設備整備工事を行い、小・中学校の普通教室への空調設備の整備を完了した。

基本目標(6) 高齢者・障害のある人の暮らしへの支援

【施策内容の概要】

- ・今後も進展していく高齢社会に対応できる地域づくり・まちづくりを目指し、住まい、医療、介護 予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。
- ・障害のある人もない人も、互いに人格と個性を尊重しあい支えあう共生のまちづくりに取り組んでいきます。

3-6-1. 数値目標に対する達成状況

平成28年2月に「西宮市地域ケア会議設置運営要綱」を制定し運営についての整理を行ったことに加えて、平成29年11月から地域ケア個別会議の位置付けで「自立に向けたケアマネジメント会議」を創設し、定期的を開催している。そのため、各センターの会議開催件数が増加し、地域活動件数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年2月下旬以降の地域活動を完全に停止したため、実績値が目標値を下回った。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大前は順調に地域活動を実施していたことから、一定の進捗が図ることができた。また、在宅医療・介護連携の推進など、介護が必要な方も地域で安心して生活できる体制づくりに取り組んでおり、要介護認定者の居宅サービス受給率については、増減があるものの、相対的には増加傾向にあり、概ね目標値を達成することができた。

指標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
地域活動件数(地域包括支援センター)	1,076件 (H26)	1,206件	1,395件	1,421件	1,493件	1,312件	1,365件
要介護認定者の居宅サービス受給率	57.4% (H26)	57.0%	57.6%	60.7%	59.8%	61.4%	60.0%

3-6-2.目標達成に向けた取組状況及び実績

①生活支援・相談支援体制の充実

主な取組内容	取組状況																												
	H27	H28	H29	H30	R1																								
<p>■サロンや昼食会など小地域福祉活動の推進</p> <p>・地域住民同士の交流を通じた、社会的孤立の防止や、相互見守り体制構築のため、ふれあいいきいきサロンを実施した。</p> <p>【ふれあいいきいきサロン実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数（回）</td> <td>955</td> <td>937</td> <td>965</td> <td>971</td> <td>906</td> </tr> <tr> <td>参加者数（人）</td> <td>25,766</td> <td>22,597</td> <td>23,590</td> <td>23,069</td> <td>21,673</td> </tr> <tr> <td>ボランティア登録者数（人）</td> <td>3,939</td> <td>3,872</td> <td>3,584</td> <td>3,528</td> <td>3,542</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	実施回数（回）	955	937	965	971	906	参加者数（人）	25,766	22,597	23,590	23,069	21,673	ボランティア登録者数（人）	3,939	3,872	3,584	3,528	3,542					
	H27	H28	H29	H30	R1																								
実施回数（回）	955	937	965	971	906																								
参加者数（人）	25,766	22,597	23,590	23,069	21,673																								
ボランティア登録者数（人）	3,939	3,872	3,584	3,528	3,542																								
<p>■民生委員・児童委員活動の推進及び支援</p> <p>・西宮市民生委員・児童委員会の事務局として、広報紙「ともしび」の発行やにのみや市民祭りでの「ふるさとブース」出店、西宮市民生委員制度発足70周年記念大会などの広報活動を支援し、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりに取り組んだ。</p>																													
<p>■地域包括支援センター（高齢者あんしん窓口）の体制整備</p> <p>・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、生活支援等の体制の充実を図った。</p> <p>地域包括支援センター 15箇所（職員総数：64名）</p>																													
<p>■地域住民が集い生活支援サービスを提供する地点拠点の整備（共生型地域交流拠点）</p> <p>・平成30年度から補助金制度へ移行し、全市展開を目標として、各地域への説明・立上げ支援を推進した結果、令和元年度に新たに、2か所の共生型地域交流拠点の開設を行うことができ、開設拠点数は5拠点となった。</p>																													

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
生活支援コーディネーター	—	2名	3名	4名	6名	6名	6名

・「生活支援コーディネーター」については、分割した全エリアに生活支援コーディネーターを配置することができた。

②介護サービス・住まいの充実

主な取組内容	取組状況																												
	H27	H28	H29	H30	R1																								
<p>■在宅生活の継続に向けたショートステイの充実（「地域のショートステイ」の整備・普及）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のショートステイの整備を促すため、ショートステイ整備事業補助事業者の公募を行ったが、平成29年度以降は、応募が無かった。 <p>【ショートステイ整備補助状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助事業所数（事業所）</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	補助事業所数（事業所）	2	1	-	-	-																	
	H27	H28	H29	H30	R1																								
補助事業所数（事業所）	2	1	-	-	-																								
<p>■「24時間あんしんサービス」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル事業として鳴尾圏域において実施し、ニーズ把握及び必要性の検討を行った結果、平成29年度をもって事業終了した。 令和元年度から、緊急通報救助事業と組み合わせ、見守りホットライン事業として実施した。 																													
<p>■見守りホットライン</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から、在宅での生活が不安な高齢者・障害者世帯等に、緊急時に通報する機器の貸出を開始した。 																													
<p>■在宅療養相談支援センターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から地域の在宅医療と介護の連携を支援する窓口として順次設置を行い、平成29年度には全圏域に設置され、在宅療養相談支援センターを中心に、圏域内の多職種連携の強化を推進した。 																													
<p>■特別養護老人ホーム等の高齢者の住まいの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業計画に基づき、入所待機者解消に向けて、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護の施設等の整備に取り組んだ。 <p>【高齢者の住まいの整備状況（各年度に開設した床数）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホームの整備（床）</td> <td>160</td> <td>75</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護付き有料老人ホームの整備（床）</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護の整備（床）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	特別養護老人ホームの整備（床）	160	75	-	2	1	介護付き有料老人ホームの整備（床）	79	-	-	-	60	認知症対応型共同生活介護の整備（床）	-	-	-	19	-					
	H27	H28	H29	H30	R1																								
特別養護老人ホームの整備（床）	160	75	-	2	1																								
介護付き有料老人ホームの整備（床）	79	-	-	-	60																								
認知症対応型共同生活介護の整備（床）	-	-	-	19	-																								

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R 1)
		H27	H28	H29	H30	R 1	
地域のショートステイ総定員数	14人 (H26)	27人	35人	34人	34人	41人	44人
特別養護老人ホームの総定員数	1,381人 (H26)	1,541人	1,616人	1,615人	1,617人	1,618人	1,711人
在宅療養相談支援センターの設置	—	2か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所

- ・「地域のショートステイ総定員数」については、補助金を活用せず整備されたケースもあったが、目標値を達成することができなかったものの、目標値に近き定員数まで増加することができた。また、補助金については、事業開始当初に数件希望があったものの、平成29年度以降は応募がなく、地域のショートステイの整備・普及に向けてニーズの把握や整備手法等の見直しを図る必要がある。
- ・「特別養護老人ホームの総定員数」については、入所待機者の解消に向けて、特別養護老人ホームの整備・運営を行う社会福祉法人を募集するなど整備促進に取り組んだが、公募採択から施設開設までに時間差があることなど目標値を達成することができなかった。
- ・「在宅療養相談支援センターの設置」については、全ての地域包括ケア連携圏域に設置することができ、目標値を達成することができた。

③高齢者の知識・経験・技術等の活用支援、生きがいづくり

主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R 1												
<p>■ 宮水学園受講者の地域貢献活動の促進及び支援</p> <p>・明るく元気な地域づくりに貢献する活動を行った団体に「宮水学園いきいき活動賞」を贈り、地域貢献活動の促進及び支援を図った。</p> <p>【宮水学園いきいき活動賞表彰状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表彰団体数 (団体)</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R 1	表彰団体数 (団体)	16	14	15	13	14					
	H27	H28	H29	H30	R 1												
表彰団体数 (団体)	16	14	15	13	14												

指標	基準値	実績値					目標値 (R 1)
		H27	H28	H29	H30	R 1	
生涯学習大学「宮水学園」講座受講者数	2,963人/年 (H26)	2,993人/年	3,159人/年	3,053人/年	3,131人/年	2,843人/年	3,500人/年

- ・「生涯学習大学「宮水学園」講座受講者数」については、目標値に達することができなかったが、一部の通年講座では定員超過により抽選となった講座があった。

④高年齢者の就業機会の確保

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R 1
■ 高年齢者の就労に関する相談の充実 ・キャリア・コンサルタントによる相談を通じて自らのキャリアを振り返り適職を探す支援を行ったほか、セミナーの実施、相談者の状況に応じた様々な情報提供を行った。また、平成27・28年度には、ハローワークと連携して各種セミナーを実施した。	●————→				
■ 西宮市シルバー人材センターなどへの支援 ・西宮市シルバー人材センターが実施する高年齢者就業機会確保事業に対して運営費の一部を補助した。また、会員募集ポスターの掲示など事業拡大に必要な支援も行った。	●————→				

指 標	基準値	実績値					目標値 (R 1)
		H27	H28	H29	H30	R 1	
西宮市シルバー人材センター会員数	2,189人 (H26)	2,238人	2,2ぎい42人	2,264人	2,302人	2,253人	2,750人

・「西宮市シルバー人材センター会員数」については、定年延長を推奨する国の情勢もあり、一般企業に再就職等される方が増えたこと等により目標値を達成することができなかった。

⑤障害のある人の生活支援の充実

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R 1
■ 相談支援事業従事者を増やすための取組 ・相談支援事業従事者初任者研修等を開催したほか、障害者あんしん相談窓口連絡会において、セミナーや勉強会等を行ったが、相談支援事業が赤字事業となっており、新規参入の事業者が少なく、既存の事業所でも廃止や休止となる事業所が出ている。 ・相談支援事業における事務手続きの簡素化を図り事業所等への負担を軽減する等、障害者あんしん相談窓口連絡会等を通じて、各事業所との連携により相談支援事業の運用改善にも努めた。	●————→				
■ 研修等による相談支援事業者の質の向上 ・障害者あんしん相談窓口連絡会において、研修や事例検討などを実施し、質の向上を図った。	●————→				
■ 地域自立支援協議会等を活用したネットワーク作り ・毎年度、運営委員会、本人中心支援部会、しごと部会、こども部会、地域生活移行連絡会、障害者あんしん相談窓口連絡会を毎月又は隔月で開催し、総会や報告会を開催した。また、部会の見直しや各部会間での連携等、地域自立支援協議会の運営が活発になるように必要に応じ対応を行った。	●————→				

<p>■ 障害のある人の就労に関する相談支援の充実</p> <p>・西宮市障害者就労生活支援センター「アイビー」を開設し、障害のある人が安心して働くことができるよう、就労に関する相談や情報提供のほか、就職の準備・ジョブコーチ支援・職場定着等の支援を行った。</p> <p>【就労に関する相談状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>相談件数（件）</td> <td>6,234</td> <td>5,946</td> <td>6,609</td> <td>7,229</td> <td>7,094</td> </tr> </table>		H27	H28	H29	H30	R 1	相談件数（件）	6,234	5,946	6,609	7,229	7,094									
		H27	H28	H29	H30	R 1															
相談件数（件）	6,234	5,946	6,609	7,229	7,094																
<p>■ 福祉施設から企業等への一般就労移行促進</p> <p>・一般就労プロジェクトとして、「メーキャップ・身だしなみ講座」などを開催したほか、地域職業体験「はたらこか」を実施した。</p>																					
<p>■ 福祉的就労支援の強化</p> <p>・毎年度、販路・企業開拓などに力を入れ、福祉事業所の売り上げの支援を行った。</p>																					

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
計画相談支援・障害児相談支援の支給決定者数	394人 (H26)	1,441人	2,484人	2,839人	3,146人	3,180人	3,936人
障害者就労生活支援センター登録者数	446人 (H26)	497人	533人	591人	653人	699人	650人

- ・「計画相談支援・障害児相談支援の支給決定者数」については、すべての障害福祉サービス利用者に相談支援を行き届かせることを目的としていたが、障害福祉サービス利用者数の増加に対し相談支援事業所数が追いついていないことから、相談支援利用者の増加数が年々減少している状況であり、目標値の達成には至らなかったが、対象が年々増加しており一定進捗を図ることができた。
- ・「障害者就労生活支援センター登録者数」については、就労に関する相談や情報提供のほか、面接への同行や職場訪問し調整等を行うなど、障害のある人が安心して働くことができるように支援を行った結果、目標値を達成することができた。

⑥ 障害のある人の日中活動の場の整備

主な取組内容	取組状況								
	H27	H28	H29	H30	R1				
<p>■ 障害者自立支援施設の計画的な整備</p> <p>・既存施設におけるスプリンクラー設備や防犯設備の改修を行う事業者を公募し、工事費等の補助を行った。平成30年度以降は、障害者グループホームの創設等を公募したが、応募する法人はなかった。</p>									
<p>■ 既存施設の受け入れ機能強化</p> <p>・いずみ園の再整備やすずかけ作業所の移転整備に着手し、順次受け入れ機能の強化に取り組んだ。</p>									

<p>■ 障害者理解促進事業</p> <p>・令和元年度から、市民が、障害の特性や障害のある人への必要な配慮を理解し、障害のある人への手助けができる「あいサポーター」の養成事業に着手し、研修を5回実施し、162人をサポーターとして養成した。また、合理的配慮の提供支援に係る助成金事業に着手し、商業者等が、手すりを設置するなど、障害のある人への配慮を行ったときに、費用の助成を行い、1件の制度利用があった。</p>					●
--	--	--	--	--	---

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
市内指定生活介護事業所の定員	481人 (H26)	493人	554人	544人	586人	591人	511人

- ・「市内指定生活介護事業所の定員」については、目標値を達成することができた。

基本目標(7) 地域特性を踏まえた取組み

【施策内容の概要】

・交通利便性の高さ、田園風景が残る環境、賑わい・活気のある環境など、本市には、多様な魅力があり、地域それぞれの特性があります。地域により抱えている課題も異なっているため、地域における市民活動への支援や、良好な住環境の保全、地域の魅力発信などを通じ、人口の増加や人口減少の抑制を図ります。

3-7-1.数値目標に対する達成状況

目標値を達成することが出来なかったが、令和元年度は過去実績と比較すると最も高いものとなった。第2期においても引き続き各関連施策を推進し、数値が上昇するよう取り組む。

指標	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
地域ブランド調査（ぜひ住みたい・できれば住みたい）	6.7% (H27)	—	7.7%	6.7%	8.8%	9.3%	12.0%

3-7-2.目標達成に向けた取組状況及び実績

①地域における市民活動への支援

主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■市民活動、自治会運営等に関する相談支援、サークル活動等のための支援 ・自治会運営等に関する相談を受けるとともに、自治会ガイドブック（加入促進編）や加入促進チラシについて、要望のある自治会等に配布するなどの支援を行った。					
■自治会等の公益的な活動中に発生した事故等に対する補償についての支援 ・各種補償金を支給した。また、当該制度について周知を行った。 【各種補償金支給状況】					
	H27	H28	H29	H30	R1
各種補償金支給件数(件)	4	6	5	8	6

<p>■市民団体が主体的に取り組む「にしのみや市民祭り」への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の各種団体が構成される「にしのみや市民祭り協議会」に対して、補助金の交付及び事務局を設置することにより支援を行った。 <p>【にしのみや市民祭り開催状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第40回</td> <td>H27.10.24 (土)</td> <td>52,000人</td> </tr> <tr> <td>第41回</td> <td>H28.10.22 (土)</td> <td>41,000人</td> </tr> <tr> <td>第42回</td> <td>H29.10.28 (土)</td> <td>14,000人</td> </tr> <tr> <td>第43回</td> <td>H30.10.27 (土)</td> <td>37,000人</td> </tr> <tr> <td>第44回</td> <td>R1.10.26 (土)</td> <td>33,000人</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	来場者数	第40回	H27.10.24 (土)	52,000人	第41回	H28.10.22 (土)	41,000人	第42回	H29.10.28 (土)	14,000人	第43回	H30.10.27 (土)	37,000人	第44回	R1.10.26 (土)	33,000人									
		開催日	来場者数																								
	第40回	H27.10.24 (土)	52,000人																								
	第41回	H28.10.22 (土)	41,000人																								
	第42回	H29.10.28 (土)	14,000人																								
	第43回	H30.10.27 (土)	37,000人																								
	第44回	R1.10.26 (土)	33,000人																								

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
自治会加入率	77.3% (H26)	76.47%	73.78%	71.78%	71.09%	70.77%	80.0%

- 「自治会加入率」については、全国的にも減少傾向にある中、本市においても数値は年々減少しており、目標値を達成することができなかった。

②良好な住環境の保全と地域の魅力発信

主な取組内容	取組状況																
	H27	H28	H29	H30	R1												
<p>■まちづくり協議会等への地区計画等策定に向けたアドバイザー派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区計画やまちづくりに関わる構想等の策定に取り組む団体にまちづくりの専門家を派遣した。 <p>【アドバイザー派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アドバイザー派遣地区数(地区)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	アドバイザー派遣地区数(地区)	3	2	3	3	3					
		H27	H28	H29	H30	R1											
	アドバイザー派遣地区数(地区)	3	2	3	3	3											

<p>■ 空き家活用による地域貢献活動への支援（改修支援、マッチング支援）</p> <p>・平成27年度から、地域での出前講座や空き家に関するセミナーなどで制度の周知を図るとともに、マッチング支援等を行った。</p> <p>【改修及びマッチング支援状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">空き家バンク登録</td> <td>物件数(件)</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>利用希望(件)</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>マッチング(件)</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">空き家改修費補助(件)</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">空き家利活用関連相談(件)</td> <td>-</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>									H27	H28	H29	H30	R 1	空き家バンク登録	物件数(件)	-	3	3	2	0	利用希望(件)	-	3	2	3	1	マッチング(件)	-	0	1	0	1	空き家改修費補助(件)		-	0	0	0	0	空き家利活用関連相談(件)		-	22	18	26	9						
		H27	H28	H29	H30	R 1																																														
空き家バンク登録	物件数(件)	-	3	3	2	0																																														
	利用希望(件)	-	3	2	3	1																																														
	マッチング(件)	-	0	1	0	1																																														
空き家改修費補助(件)		-	0	0	0	0																																														
空き家利活用関連相談(件)		-	22	18	26	9																																														
<p>■ 戸建住宅住替え支援（改修支援等）</p> <p>・空き家の居住に関する相談を受けた。また、平成28年6月には「マイホーム借上げ制度」の説明会を実施した。</p> <p>【戸建住宅住替え支援状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">空き家改修補助（件）</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">空き家居住関連相談（件）</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>									H27	H28	H29	H30	R 1	空き家改修補助（件）		-	0	0	0	0	空き家居住関連相談（件）		-	8	3	4	4																									
		H27	H28	H29	H30	R 1																																														
空き家改修補助（件）		-	0	0	0	0																																														
空き家居住関連相談（件）		-	8	3	4	4																																														
<p>■ 宮っ子のいえアドバイザー派遣による地区コミュニティ形成支援</p> <p>・つどい場開設や住環境学習等の市民主体の活動に対して、的確に支援を行った。</p> <p>【宮っ子のいえアドバイザー派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">アドバイザー派遣回数（回）</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>									H27	H28	H29	H30	R 1	アドバイザー派遣回数（回）		10	4	1	2	4																																
		H27	H28	H29	H30	R 1																																														
アドバイザー派遣回数（回）		10	4	1	2	4																																														
<p>■ すまいの総合窓口での住宅ニーズの収集及び住まいの情報発信</p> <p>・建築・リフォーム相談等で住まいニーズを適切に把握するとともに、適切な住まいの情報発信を行った。</p> <p>【すまいに関する相談状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建築・リフォーム相談(件)</td> <td>-</td> <td>103</td> <td>73</td> <td>88</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td colspan="2">不動産相談(件)</td> <td>-</td> <td>180</td> <td>154</td> <td>162</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td colspan="2">マンション管理相談(件)</td> <td>-</td> <td>60</td> <td>72</td> <td>60</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高齢者等すみかえ相談(件)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>									H27	H28	H29	H30	R 1	建築・リフォーム相談(件)		-	103	73	88	99	不動産相談(件)		-	180	154	162	167	マンション管理相談(件)		-	60	72	60	55	高齢者等すみかえ相談(件)		-	-	-	-	3											
		H27	H28	H29	H30	R 1																																														
建築・リフォーム相談(件)		-	103	73	88	99																																														
不動産相談(件)		-	180	154	162	167																																														
マンション管理相談(件)		-	60	72	60	55																																														
高齢者等すみかえ相談(件)		-	-	-	-	3																																														

指標 (KPI)	基準値	実績値					目標値 (R1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
地区計画の策定件数 【延べ】	32件 (H26)	33件	33件	34件	35件	36件	35件
景観重点地区の指定 【延べ】	2か所 (H26)	3か所	4か所	4か所	4か所	6か所	5か所
空き家地域活用件数 【延べ】	—	0件	0件	1件	1件	2件	5件

- ・「地区計画の策定件数」及び「景観重点地区の指定」については、まちづくりに関わる構想等の策定に取り組む団体にまちづくりの専門家を派遣するなどの支援を行った結果、目標値を上回ることができた。第2期においても、良好な住環境の保全と向上を図るため、策定件数等が増加するよう取り組む。
- ・「空き家地域活用件数」については、平成27年度から地域での出前講座等で制度の周知を図ったが、目標値を達成することはできなかった。第2期西宮版総合戦略においても、空き家が地域で活用され、放置されることを未然に防ぐため、継続して取り組む。

③市内移動の利便性向上







主な取組内容	取組状況				
	H27	H28	H29	H30	R1
■ 南北方向の交通アクセスの向上 ・市民意識調査の結果を反映させて平成21年度に策定した「都市計画道路整備プログラム」に基づき南北方向を含めた道路ネットワークの整備を進めた。また、第5次総合計画（アクションプラン）の内容を基本として平成31年4月に「西宮市道路整備プログラム（R1～R10）」を策定した。	●————→				
■ バス路線の拡充と利用に応じたダイヤの見直し等 ・バス事業者とバス路線の再編・拡充等について協議を行い、平成29年度にJR甲子園口南のバス乗り場の増設、平成30年度に小曾根線(JR甲子園口駅～武庫川団地・鳴尾浜間)のバス路線を新設することができた。 ・平成27年度には、阪急バス山口営業所管内（山口・塩瀬）において大規模なダイヤ改正が行われ、北六甲台を経由するバス路線が拡充された一方、利用実績の少ない路線では減便となった。	●————→				
■ バス停留所上屋・ベンチの設置やノンステップバス・バスロケーションシステムの導入 ・バス事業者と協議し、5年間で市内のバス停8か所に上屋、30か所にベンチを設置、18台のノンステップバスの導入、市内を走行する全台のバスにバスロケーションシステムの導入を促進し、利便性の向上を図った。	●————→				
■ 主要駅における自転車駐車場（駐輪場）整備 ・主要駅に隣接する駅の自転車駐車場の増設を行った。また、平成29年度には阪神鳴尾（現：鳴尾・武庫川女子大学前）駅に自転車駐車場の整備を行った。	●————→				

指標 (K P I)	基準値	実績値					目標値 (R 1)
		H27	H28	H29	H30	R1	
都市計画道路整備率	76% (H26)	83%	84%	84%	84%	84%	85%
路線バス利用者数	49,822 人/日 (H26)	50,939 人/日	51,226 人/日	50,759 人/日	51,954 人/日	52,173 人/日	50,000 人/日
踏切箇所数	42か所 (H26)	—	36か所	36か所	36か所	36か所	36か所
自転車駐車場 (駐輪場) 収容可能台数	29,730台 (H26)	29,716 台	29,887 台	30,007 台	30,986 台	30,564 台	30,000 台

- ・「都市計画道路整備率」については、目標値に達することはできなかったが、都市計画道路の整備は交通混雑が解消され、アクセス性が改善するだけでなく、災害に強いまちづくりにも寄与するため、第2期西宮版総合戦略においても引き続き進捗を図る。
- ・「路線バス利用者数」については、全国的に減少傾向にある中、目標値に達することができた。第2期西宮版総合先戦略においても、市民の移動手段を確保・維持ができるようバス事業者と共に取り組む。
- ・「踏切箇所数」については、平成28年度末に阪神本線連続立体交差（鉄道高架化）事業により6か所の踏切が減少し、目標値を達成することができた。
- ・「自転車駐車場（駐輪場）収容可能台数」については、利用者の多い主要駅を中心に自転車駐車場の整備を進めた結果、目標値を達成することができた。

④人口減少・少子高齢化が先行する地区への対応

主な取組内容	取組状況																												
	H27	H28	H29	H30	R1																								
<p>■【鳴尾地区】地域特性に応じたスポーツ活動の企画支援と情報発信</p> <p>・バスケットボールの盛んな地域特性を活かした企画として、浜甲子園体育館にて、西宮ストークスと指定管理者が連携し、小・中学生を対象とした「西宮ストークスバスケットボールスクール甲子園校」を平成28年7月に新規開校し、多くの小・中学生が参加した。また、バスケットボール競技の普及やスポーツ人口の拡大にもつながるため、HPや市政ニュースを活用し、情報発信した。</p> <p>【学年別スクール参加状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校低学年(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>266</td> <td>767</td> <td>412</td> </tr> <tr> <td>小学校高学年(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>600</td> <td>745</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>中学生(人)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>844</td> <td>1,802</td> <td>362</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	小学校低学年(人)	-	-	266	767	412	小学校高学年(人)	-	-	600	745	528	中学生(人)	-	-	844	1,802	362					
	H27	H28	H29	H30	R1																								
小学校低学年(人)	-	-	266	767	412																								
小学校高学年(人)	-	-	600	745	528																								
中学生(人)	-	-	844	1,802	362																								

<p>■【鳴尾地区】鉄道高架事業や駅周辺地区の整備にあわせた新たな土地利用の誘導・促進</p> <p>・阪神鳴尾（現：鳴尾・武庫川女子大学前）駅周辺の活性化を図るため、武庫川女子大学や地元の意見を踏まえ、駅前の公園や道路の整備が令和2年3月に完了した。</p>	
<p>■【北部地区】国道176号名塩道路の未整備区間の早期整備促進</p> <p>・重点要望区間であった名塩工区のバイパス区間が平成27年7月に開通した。また、異常気象時通行規制区間の解消へ向け、国の直轄工事として生瀬工区の工事が継続的に実施され、東久保工区の工事に着手された。</p> <p>・今後も未整備区間（生瀬工区、東久保工区等）の早期完成に向けて、引き続き事業費予算の確保・整備促進を図るための要望活動を行う。</p>	
<p>■【北部地区】コミュニティ交通についての支援</p> <p>・地域住民が主体となって取り組んでいる生瀬地区におけるコミュニティ交通に対し、運行損失等の助成を行ったほか、専門家を派遣した。また、他地区においてもコミュニティ交通導入に向けた検討が進むよう、生瀬地区の例を参考に、段階的に必要な支援を行った。</p>	
<p>■【北部地区】国見台における企業誘致</p> <p>・継続的な企業訪問や奨励金等の活用により、国見台の用地は平成29年4月に完売した。また、企業定着に向けて支援を行った。</p>	
<p>■【北部地区】自然を活用した交流の機会創出</p> <p>・船坂里山学校（旧船坂小学校跡施設）において、地域住民等による実行委員会が実施する農業祭と連携して、里山風景と農産品を活用したイベント「船坂マルシェ&ふれあい広場」を開催し、地域を訪れる人と地域住民との交流の機会を創出した。</p>	
<p>■【北部地区】山口町船坂等の地元主体によるまちづくりについて支援</p> <p>・平木地区（山口町船坂）農業元気基本計画の策定、古民家調査、空き地・空き家調査等を行い、地域主体で体験農園やべにばなワークショップ、古民家再生ワークショップなどのアクションプランへと結実させるなど、まちづくりや地域の活性化に寄与する支援を行った。</p>	

指標（KPI）	基準値	実績値					目標値（R1）
		H27	H28	H29	H30	R1	
産・学・官による地域活性化に関する連携協定（鳴尾地区）	—	0件	0件	0件	0件	0件	1件
船坂里山学校の来場者数	5,258人/年（H26）	8,274人/年	16,189人/年	17,733人/年	21,042人/年	20,893人/年	8,000人/年
コミュニティ交通の利用者数（生瀬地区）	44人/日（H26試験運行）	—	83.7人/日	94.4人/日	98.0人/日	109.5人/日	88人/日
さくらやまなみバスの利用者数	403,603人/年（H26）	426,778人/年	427,209人/年	438,799人/年	403,427人/年	432,968人/年	430,000人/年

- ・「鳴尾地区における産・学・官による地域活性化に関する連携協定」については、目標値に達成しなかったものの、平成30年12月に鉄道事業者と大学が包括連携協定を締結し、鉄道高架下の有効活用に取り組み、鳴尾地域活性化の拠点として武庫女ステーションキャンパスが開設された。
- ・「船坂里山学校の来場者数」については、船坂マルシェ&ふれあい広場の開催等により目標値を大きく上回る来場者があった。
- ・「コミュニティ交通の利用者数」については、運行協議会の主体的な取組に対し、専門家の派遣や運行経費の助成等の支援を行った結果、目標値を達成することができた。
- ・「さくらやまなみバスの利用者数」については、地震、大雨、台風等の影響により年間158便運休となった平成30年度以外は、順調に利用者が推移しており、目標値に達する事ができた。第2期西宮版総合戦略においても、引き続き市内南北間移動の活性化に取り組む。

4. 第1期西宮版総合戦略における基本目標とSDGsにおける17ゴールの関係

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成27年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、「2030年（令和12年）」を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

法的拘束力はありませんが、先進国・開発途上国を問わず、あらゆるステークホルダーが参画し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことが示されています。



基本目標（1）稼ぐ力を引き出し市民の暮らしを支える産業支援



基本目標（2）大学との連携強化



基本目標（3）都市ブランドの発信強化



基本目標（4）文化芸術・スポーツに触れる機会の促進



基本目標（5）結婚・出産・子育て・子供の育ちへの支援



基本目標（6）高齢者・障害のある人の暮らしへの支援



基本目標（7）地域特性を踏まえた取組

